

セーフアウトか。勝利を目指し、全力プレーを見せる球児たち＝姫路球場



憧憬・情景

甲子園を目指す高校球児たちの晴れ舞台

甲子園を目指す高校球児たちの晴れ舞台が3年ぶりに姫路に輝ってきた。

2年間の改修工事を終えて、再オープンした姫路球場（姫路市殿田）。第96回全国高校野球選手権兵庫大会が今月20日に開幕し、熱戦が続いている。

盛衰となった平日の試合に地元西脇磨勢が勢が登壇した。試合は序盤から乱打戦に。スタンドの応援が

高校野球

全力プレーを後押しし、両チームは士気を巻き上げて白球を走らせた。

勝敗は9回の逆転打で決着した。敗戦と落胆が交錯するグラウンドに、観客から惜しめない拍手が送られた。青空のようにさわやかな完全燃焼した球児たちの姿。夏はやはり球場から目が離せない。

(大森 武)
(月1回掲載します)

球児の「晴れ舞台」再び

◆感動をありがとう

笑顔

介護施設で働いてます。同僚の息子さんが高校で野球をやっていて、兵庫大会の1回戦をテレビで利用者さんと一緒に観戦しました。少ない部員で頑張ってる地元校が強豪校と当た

り、逆転に次ぐ逆転の好試合をやってくれました。結局負けたのですが、みんな応援することで元気をもらいました。その上、試合後、子供たちが施設に寄ってくれたんです。感動をありがとう、と言いたくて

(大森、勤め、女、40)

神戸新聞 平成 26 年 7 月 20 日 (日) 姫路版に掲載

神戸新聞 平成 26 年 7 月 18 日 (金)

「イイミミ」欄に掲載 文中の介護施設は、「笑顔」さんです。